

# 自分ごとと化会議中間まとめ

## ～第4班 子ども・子育て～

以下は、私たち第4班の会議参加者が、議論してきたことや、各回で記載した「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

### 課題

- 自治会・子ども会・PTAなどの共助として機能していたシ
1. ステムが、担い手不足、ライフスタイルの変化で機能しにくくなっている。

### 課題

2. 地域活動の情報は、回覧板が主であり拡がらず、取り組み内容が知られていない。

### 課題

3. 自治会と地域コミュニティ協議会等の組織の役割や活動内容が理解されていない。

### 課題

- 家庭内相談や、気軽に息抜きをできる場所が、親も子ども
4. もなく、孤立しがちである。個人・地域・学校（行政）の連携もうまくいってない。

### 課題

- 天候に関係なく、子どもがのびのびと遊べる場所や、勉強
5. できる場所がない。地域や学習塾などと連携した家庭学習支援体制を構築できないか。

自治会・子ども会・PTAなどの共助として機能していたシステムが、担い手不足、ライフスタイルの変化で機能しにくくなっている。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 世代間の交流が少ない。</li> <li>② 自分の興味のある分野で、つながりがあればそれでよいと考える人が多く、他者への理解が進まない。</li> <li>③ そもそも2～3年住んでいるが、一度も回覧や自治会とからみが無い。</li> </ul>	<p>A) 自分の周りの高齢者の得意なことを把握する。</p>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 世代間の交流が少ない。</li> <li>② 地域にどのような人が住んでいるのか把握できなくなっている。</li> <li>③ 将来的に、今までと同じやり方では、存在意義がなくなるのでは。</li> </ul>	<p>A) 高齢者（社会資源として）の活用</p>
その他（民間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 多くの市民活動団体でも担い手が減少。</li> <li>② 各部門や団体のつながりが少ない。</li> </ul>	<p>A) 高齢者（社会資源として）の活用</p>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市が地域活動団体の中心となってコーディネート（地域活動団体同士のつなぎ役）できていない。</li> <li>② 場所・機会の提供だけでなく、活動をけん引することが必要。</li> <li>③ 行政が求めるものが、地域を介し、個人まで行き渡りっているのか。</li> <li>④ 何でも自治会任せになっていないか。</li> </ul>	<p>A) 市民活動の内容の把握。            B) コーディネイトできる人の養成。            C) 高齢者への公民館の開放（お茶のみ話）            D) KPIを定め、自治会や個人へ働きかける。</p>

**【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】**

(ア) 長岡京市民は色々新しいことに挑む人が多いので、その支援をしていくことが大事。

(イ) 市は、場所・機会の提供だけでなく、ワクワク感を生み出す（例えば、天才育成教室とか）ような、時代に合ったイベントを、自治会や地域コミュニティ協議会と一緒に作っていく。

2. 地域活動の情報は、回覧板が主であり拡がらず、取り組み内容が知られていない。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市政への関心が低く、つながりがない。</li> <li>② 知りたい情報をどこで調べればよいのかわからない。</li> <li>③ 色々な情報が散乱し、判断が難しい。(フエイクニュース等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A) 日頃から市政を話題にする。</li> <li>B) 詳しい方から話を聞いたり、良い情報を知人に教えたりする。</li> <li>C) 市のHPを調べたり、市のSNS (LINE・Facebook) に登録して調べたりする。</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 回覧板が内容の期日前に回ってこない。</li> <li>② 様々な取り組みがなされているが、参加者が増えないのは、情報の発信がされていないため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A) 自治会や地域コミュニティ協議会の活動内容をSNSで発信する。</li> <li>B) 大事な情報等で、回覧と掲示板、SNSを使い分ける (重要な情報のみ回覧する)。</li> </ul>
その他(民間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 長岡京サポートセンターに情報ファイルはあるが、内容がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A) </li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市の情報発信力が低い。</li> <li>② 必要のない情報や事後報告ばかり。</li> <li>③ 問題を調べるのに、情報が色々なところに分かれている。</li> <li>④ あまり登録されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A) HP、SNSを見る機会を増やす。</li> <li>B) SNSを活用した発信。</li> <li>C) 一元で調べられるような場をSNS上に作る。</li> <li>D) 積極的に情報の発信。</li> </ul>

【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】

(ア) 市が中心となり、地域活動組織の情報を一元化する。

3. 自治会と地域コミュニティ協議会等の組織の役割や活動内容が理解されていない。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	① 自治会や地域コミュニティ協議会など、地域組織のつながりがわからない。	A) 詳しい方から話を聞いたり、良い情報を知人に教えたりする。
地域	① 自治会や地域コミュニティ協議会の違いが理解されていない。	A) 団体同士の交流・取組みがあればよい。 B) 地域コミュニティ協議会に権限を付与。
	② 地域コミュニティ協議会の権限が弱い。	C) 小学校区に1つは地域コミュニティ協議会を作る条例を作る。
	③ 地域コミュニティ協議会がない小学校区がある。	
その他(民間)	① 民間企業と地域活動団体の連携が薄い。 ② 学校の子どもとのかかわりが弱い。 ③ 民間企業が参入しにくい。	A) 地域コミュニティ協議会との関りを増やしていき、連帯化する。
行政	① 市と地域が連携していない。	A) 市が学校、地域コミュニティを担当する人を決めるべき。

【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】

(ア) 地域コミュニティ、各団体とも役割を明確にし、互いにメリットを持たせる。

(イ) 長岡京市に長く暮らしていても、地域の組織の事について知らないことが多く、参加できないでいる。

4. 家庭内相談や、気軽に息抜きをできる場所が、親も子どももなく、孤立しがちである。個人・地域・学校（行政）の連携もうまくいっていない。

	それぞれの課題	解決する方法
個人	① 電子媒体の技術の発達や、夫婦共働きなどにより、親子のコミュニケーションの機会が減少している。	A) 物に使われるのではなく、使うという意識を忘れない。 B) 大人が子ども目線になる。
	② 子どもたちに対する気持ちの余裕を持ちにくい。	C) 子どものアイデアを聞く。 D) 自分が父親または母親としてではなく、一人の人間として過ごせる時間を作る。
	③ 他の人に話を聞いてもらう時間がない。	E) 声掛け、相談できる相手を作る。
	④ いじめについて解決策がわからない。	F) 病院や子育て支援の資源に足を運ぶ。
	⑤ 望まない妊娠をしてしまった女性のサポートがあまりない。	G) 子と親のかかわりを持ってくれるサポーターを探す。
地域	① 親子の交流できる行事が薄い。	A) 親子で楽しむイベントを企画する。
	② それぞれの家庭に子育ての責任を押しつける雰囲気がある。	B) 自治会等で声掛け、相談できる相手を作る場を作る。
	③ 現役の子育て中の親子以外は、現状を知らないことが多く、子どもたちの毎日の生活、行動範囲がどうなっているのか、困りごとが何なのか知ってほしい。	C) 地域ぐるみで助け合いの精神を持てるようなコミュニティの場を形成する。 D) 子ども会を子どもが運営し、責任感と連帯感を育む。
	④ 子ども会の活動で子どもの数が減っており親の負担が多い	E) 子ども会を有志の高齢者が手伝えるようにする。
	⑤ 望まない妊娠をしてしまった女性のサポートがあまりない。	F) 子どもの居場所として自治会館を提供する。 G) 相談できる社会資源へつなげる。 H) 万が一のことがあった時、子育て経験のある方に身を寄せられるようにする。
その他（民間）	①	A) 不登校・いじめの専門団体の構築。 B) 社協・ひとつなぎ活動の「ハロウィン」に子ども会と一緒に参加したい。
行政	① 学校は、受験勉強中心で、事なかれ主義。	A) 子どもたちの発達に応じた勉強を。
	② 学校が相談の場になればいいが、既にスベックオーバー。	B) 学童保育の充実。 C) 小学校での問題は中学校へ伝える。

- 
- |   |   |
|---|---|
| ③ 義務教育課程に入ると、子どもの困りごとができた時に気軽に相談できるところがわからなくなる。 | D) 学校内に相談所を設置し増やしていく。                           |
| ④ 望まない妊娠をしてしまった女性のサポートがあまりない。                   | E) 親子それぞれのメンタルケアのワンストップのサポートを設置し、匿名での相談も受け付ける。  |
|   | F) 子どもを見守る人に対する講座の開催。                           |
|   | G) 個人情報の漏洩を防止する策を立てながら、子育てサポートをする制度等の紹介、手続きの案内。 |
- 

**【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】**

- (ア) 相談場所を学校ごとに設置した方がよいのか、学校以外に設置したほうがよいのか、子どもが本当に気軽に相談できるところを作ってあげたい。
- (イ) 外部の支援、地域の力を使って、他の支援機関や市民団体、民間企業とも連携を取って支援を必要とする親子にうまくつながるシステム、子どもが発信できる機会の確保を構築したい。

5. 天候に関係なく、子どもがのびのびと遊べる場所や、勉強できる場所がない。地域や学習塾などと連携した家庭学習支援体制を構築できないか。

	それぞれの課題	解決する方法	
個人	① 子供がのびのび遊べる場所が少ない。	A) 公園等、友人と集まりやすいところに足を運ぶ。	
	② 悪天候時の放課後の過ごし場所がない。	B) オンライン通信を利用した遊びに切り替える。	
	③ 屋内遊戯（TVゲーム、カードゲーム等）の流行による子どもの外遊びが減少。	C) 遊び場等の情報をSNS等で周知をする。	
	④ コロナ禍において子どもの遊べる場所が減少または規制が厳しい。		
	⑤ 塾の費用等、教育費がかかりすぎる。		
地域	① 子どもが中学生になるタイミングで、子ども会と同時に自治会からも退会する。	A) 多世代交流の場を創出する。 B) 学習サポートの会を作る。	
	② コロナ禍におけるひとり親サポート。	C) 屋内遊戯よりも魅力的な施設を提供。 D) 見守るパトロールの時間を決めて、子どもの安全を確認する。 E) 子ども食堂のように帰りの遅い親のサポートをする。	
	①	A) フードバンク長岡京から食品の提供も。	
	その他 (民間)	① 中学校において副4教科のテスト問題が毎年同じらしく、塾では過去問が出回っているのに、塾に通っている子と通っていない子の公平性が損なわれている。	A) 過去問の取り扱い、問題の更新が必要。 B) 勉強の場として開放しているが、使用者があまりない場合は、遊び場として提供する。
		② コロナ禍におけるひとり親サポート。	C) 放課後の活動として、すすく教室の回数を増やす。 D) 児童館や学校（空き教室）などの公共施設を用いて、子どもの居場所を作る E) コロナ禍でも、コロナ対応をきっちりと、いろいろな施設を、使用中止ではなく使えるようにする。 F) 子どもに接するときのレクチャー。もしもの時のための保険。
行政			

**【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】**

(ア) 子供が伸び伸びと遊べる場・勉強できる場が減少しており、また、子ども会（自治会）から退会する親子が多い。一方で習い事をする子どもが増加し、送り迎えも親がするため、子ども同士の交流が減少している。それにより、親や子供の交流の場が減り、地域交流が希薄化していく。



【その他の課題 1】

---

長岡京市は自転車の使用率が高いわりに、駐輪場が少ない。

【その他の課題 2】

---

ダンボールゴミが増えた（ネットでの購入の増加）

（行政ができること）月に 1 回の回収を増やす。

週 2 回の一般ゴミ回収のうち、1 回収してもらう。